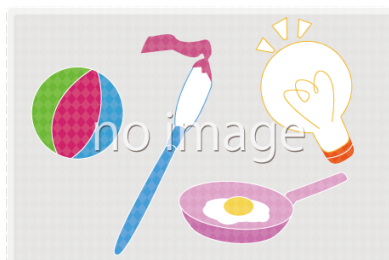


# 孤立無援

チーム対抗レクです。1人取り残されてしまった仲間を、全員で無事救出できるまでのタイムを競います。  
室内よりも、外の方が楽しく行えます。



ジャンル 運動機能改善 イベントレク ゲーム

身体面への効果 指定されていません

精神面への効果 指定されていません

介護度 要介護度3 所要時間 15分～20分

性別 男性  女性  どちらも好評です 人数 5人以上

道具 (一人当たり予算0円)

外の場合は、場所が大事。  
庭や森等が適しています。  
施設内だと、新聞紙とテーブルがあれば大丈夫です。

注意点・追加ルール

期待効果 協力し、コミュニケーションになる。下肢の運動機能改善。

1 設定は無人島に1人取り残された仲間のために、反対の島から橋を建設して渡らせるというものです。

2 外であるための説明をします。  
孤立する1人を選びます。利用者さんには動いてもらう方がいいので、職員さんが適しています。  
車いすの方は、むしろ孤立する人にはいけません。そうすると、橋を大きくする必要がありますから。

3 地面に直径50~60cm輪を描いて、そこを無人島とします。  
そこから5m程離れたところにも同じく輪を描き、そちらをチームの島とします。

4 チームの島から無人島に橋をかけて、無人島に取り残された仲間を救出。  
橋は周りに生えている草や木の枝、石ころを地面に並べていきます。

5 より早く島につないだ後は、橋からはみ出さないように無人島から渡りきれたらゴールです。  
車いすの場合、橋を2本組む必要があり、石ころ等は使えません。

6 もちろん時間はかかってもやるだけの価値はあります。  
ただ、その間車いすの方は待たなければいけないので、非常につまらないのです。

7 落ちているゴミを拾うようにすれば、掃除にもなります。  
葉っぱ等は飛ばないように石でおさえておく必要があります。

8 長すぎるもの(木の枝でも大きい物)等はなるべく使わないようにし、木の枝自体も縦に使うのではなく、横にして数本並べて広い橋を作るように心がけましょう。

9 室内の場合、島を新聞紙を丸めて輪っかにして置きます。  
施設内にあるものを使って橋を作りますが、シート等は縦に使わず、畳んで頑丈な橋を作るように。